資料２－３

固定系超高速ブロードバンドに関する事業者間連携サービスの動向

平 成 ２ ７ 年 ４ 月 １ ０ 日

総 務 省　総 合 通 信 基 盤 局
電気通信事業部　事業政策課

目 次

１　固定インターネットに関する事業者間連携について　・・P.2

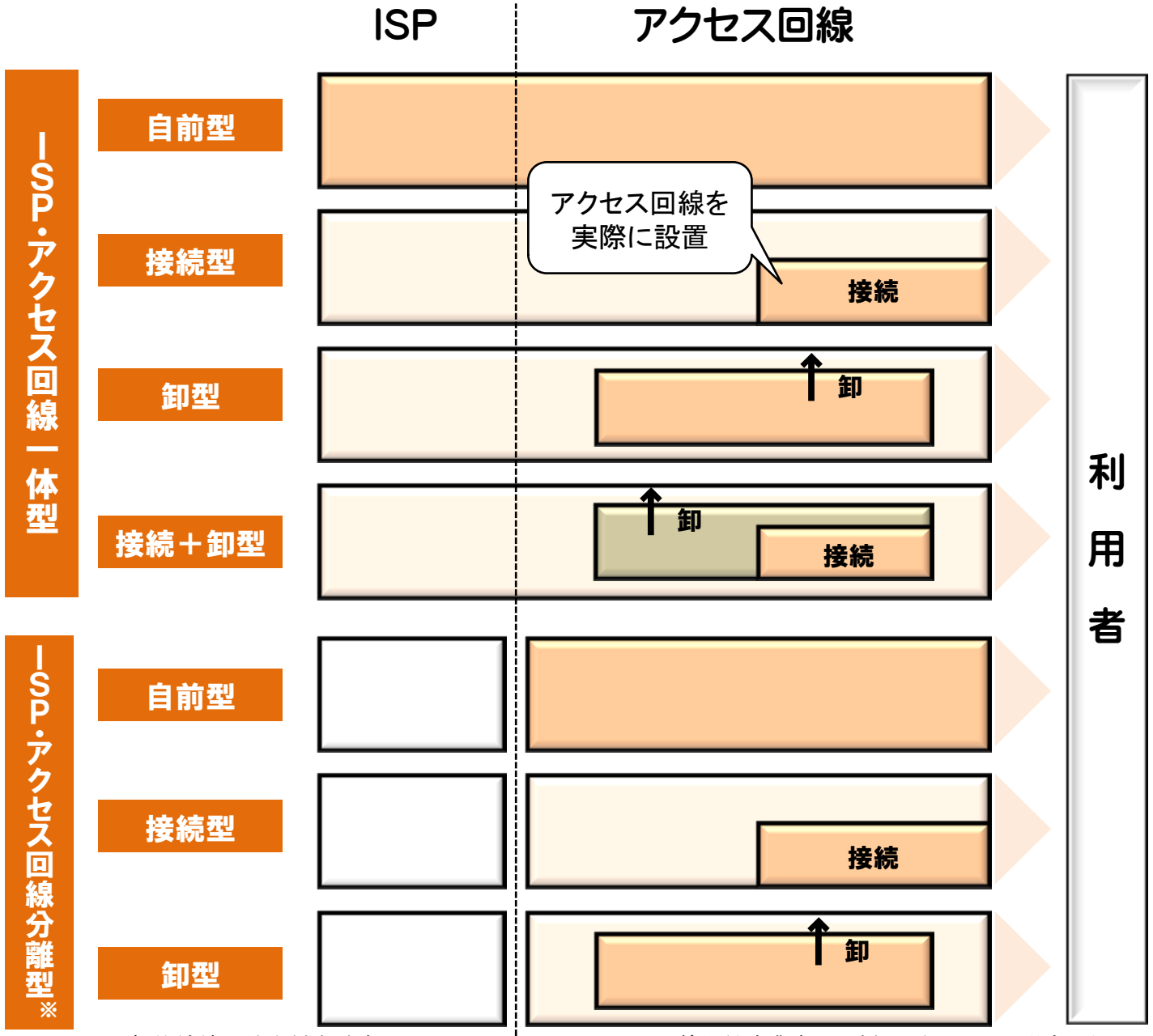
２　連携サービスに関する利用者アンケートの結果　・・P.5

３　NTT東西による光回線の卸売サービスについて　・・P.11

４　サービス卸に関する利用者アンケートの結果　・・P.19

1　固定インターネットに関する事業者間連携について

固定系超高速ブロードバンドの提供形態



主なサービス例
赤字はサービス卸関係

- eo光（ケイ・オプティコム）
- auひかり[au one net利用、関東]
- CATVインターネット

- auひかり[au one net利用、関東以外]
- NURO（ソネット）

- **ドコモ光[ドコモnet利用]**
- **ソフトバンク光**
- **ビッグローブ光**
- auひかり[au one net以外利用、関東]

- auひかり[au one net以外利用、関東以外]

- フレッツ光

- **ドコモ光[単独型]**
- **ドコモ光[ドコモnet以外のISP料金一体型]**

※ 契約締結手続や料金請求については、ISP又はアクセス回線提供事業者が一括して行っている場合がある。

固定インターネットサービスと他のサービス等との連携

- 固定インターネットと、**同一事業者あるいは関連会社・提携する事業者の他のサービス・商品（モバイル・TV等）を組み合わせて一体的に契約するサービス**がある。
- このようなサービスを契約することにより、**契約手続の簡素化、料金の割引、料金の一括支払が可能となる等のメリット**がある。

固定インターネット＋移動型サービスの例

注：特に記載が無い限り、金額は全て税抜。

事業者	サービス名称	対象	固定系通信	移動系通信	サービス内容
KDDI グループ	auスマートバリュー (2012年2月開始)	データ	ネットと電話 FTTH CATV	データ通信(LTE/3G) スマートフォン タブレット	・auのスマートフォン/タブレット及び対象の固定BBサービスを契約する人を対象に、モバイルの定額データ料金から**最大2,000円/月割引**(最大2年間)。2年経過後は934円/月割引。 ・家族の人数分について同額割引（最大10回線） ・固定系は提携事業者のサービスからも選択可。
ソフトバンク グループ	スマート値引き （2015年3月開始）	データ	FTTH ADSL CATV	データ通信(LTE/3G) スマートフォン タブレット	・ソフトバンクのスマートフォン/タブレット及び対象の固定BBサービスを契約する人を対象に、モバイルの定額データ料金から**最大2,000/月割引**（最大2年間）。2年経過後は1,008円/月割引。（税込） ・家族の人数分について同額割引（最大10回線）
日本通信	b-mobile FMC for フレッツ光 （2012年2月）	データ	FTTH	WiFiスポット データ通信(3G) WiFiルータ 3G SIM	・NTTフレッツ光と屋内外のデータ通信（3G網、Wi-Fi網、固定網）のセット販売。 ・セットの料金は戸建て6,986円、集合5,186円/月(税込)

固定インターネット＋ＴＶサービスの例

事業者	サービス名称	対象	固定系通信	TV	サービス内容
NTT東西	フレッツ・テレビ	―	FTTH	・地上デジタル放送 ・BS・CS放送（31ch） ※一部有料	・他事業者の有線TVサービスと接続し、放送サービスを伝送する。 ・フレッツ光の月額使用料(ISP料金含む)に月額660円追加(フレッツテレビ基本料450円：JCOM施設利用料210円)
J:COM	スマートお得プラン	―	CATV	・地上デジタル放送 ・ケーブルテレビ放送（77ch） ・ビデオ配信	・CATVインターネットと共にケーブルテレビサービスを提供する。 ・ネット、テレビ、固定電話等のセットで月額9,548円～。

２　連携サービスに関する利用者アンケートの結果

連携サービス利用の決め手

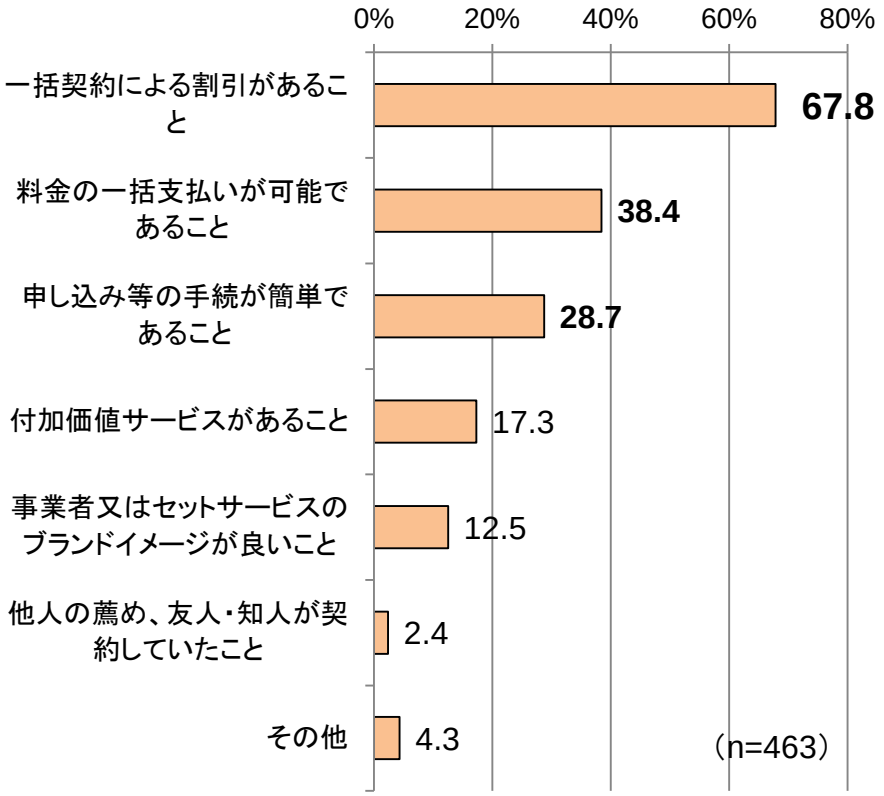
- 固定インターネットと他のサービスとの組合せによるサービス（以下「連携サービス」という。）について、選択する決め手として**最も多い理由**は**「一括契約による割引があること」**となっている。

  特にKDDI・電力系事業者・CATV事業者では約7割以上が回答している。

- 次いで**「料金の一括支払いが可能」「申し込み等の手続が簡単」**といった利用者の手間を減らすものが主な理由となっている。

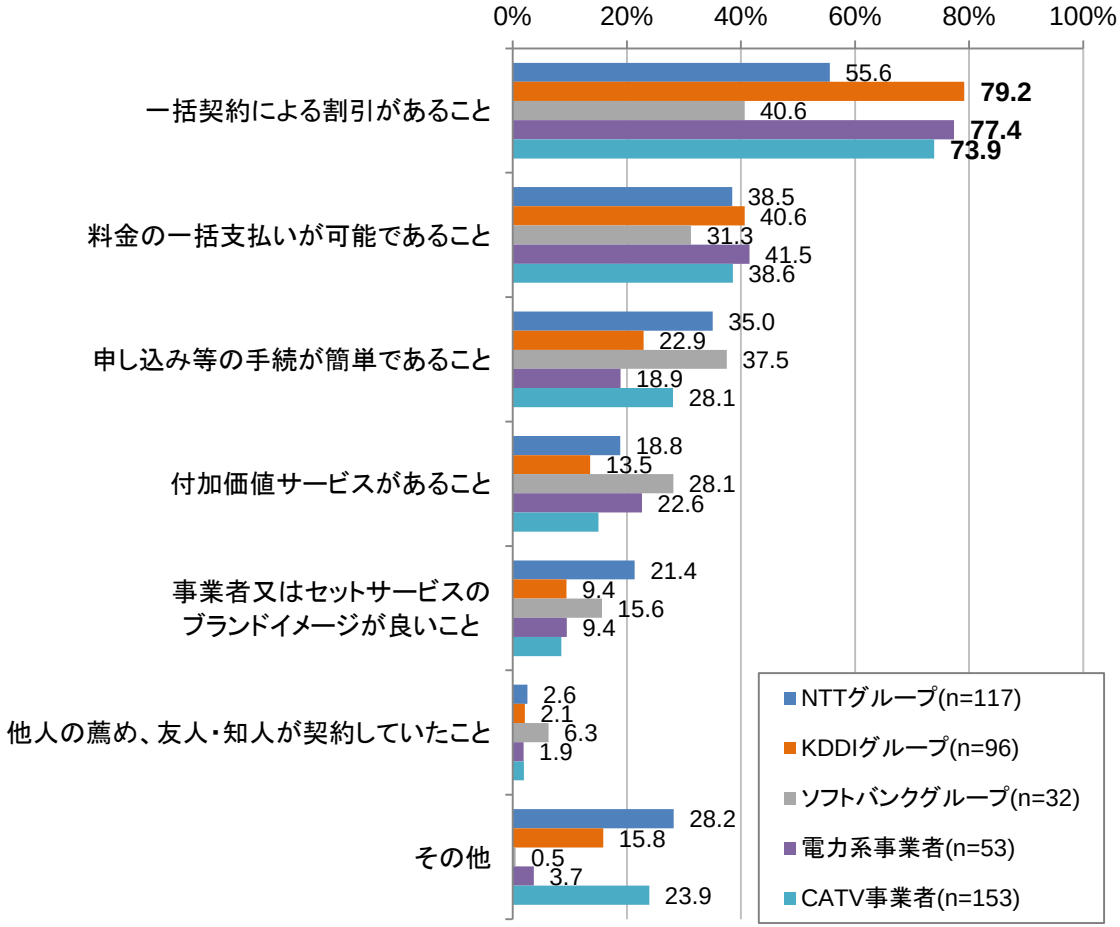
連携サービス利用の決め手（全体）

※複数回答可



連携サービス利用の決め手（事業者別）

※複数回答可



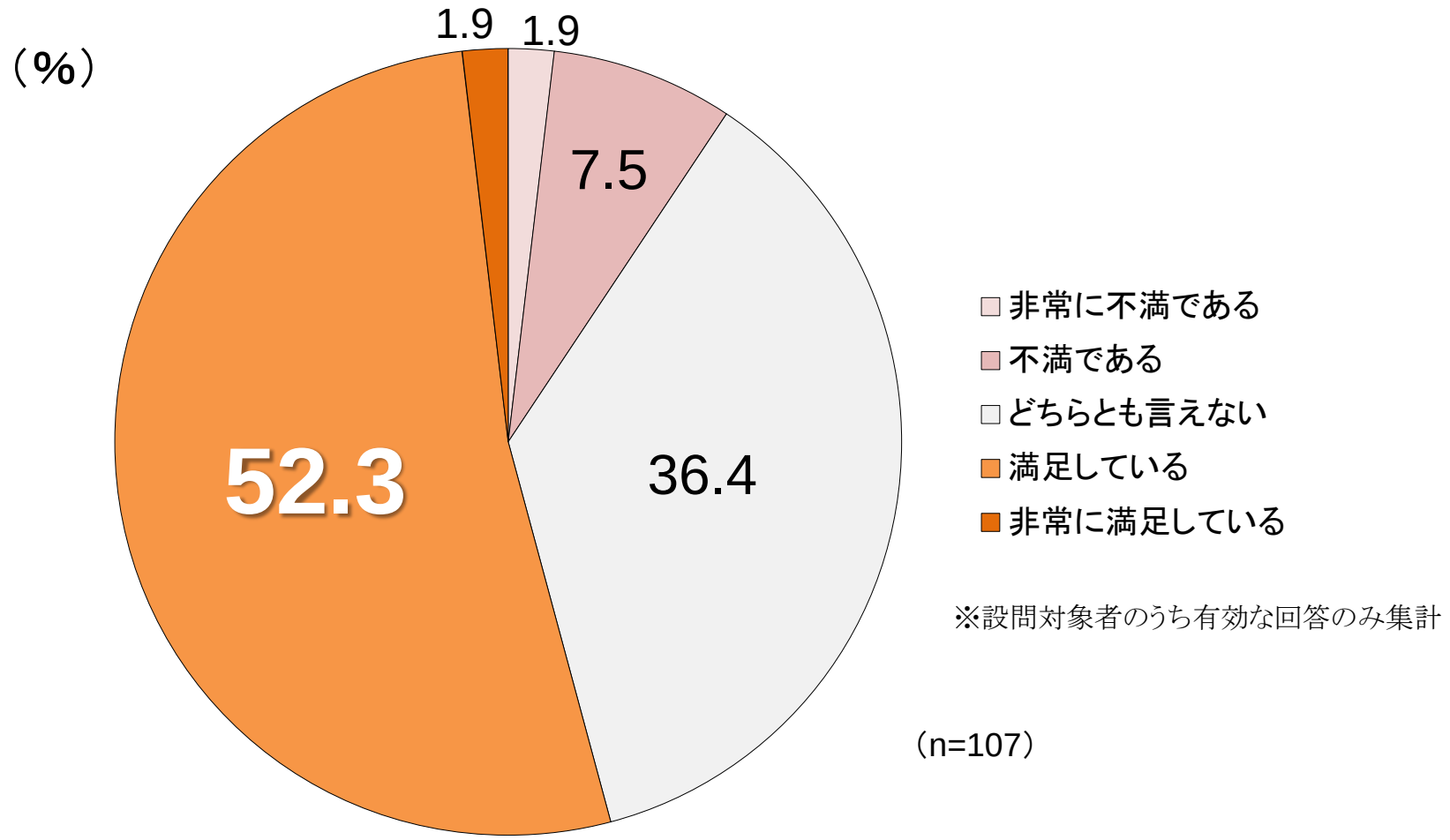
回答者ベース：固定通信利用者のうち連携サービス利用者（設問対象者のうち有効な回答のみ集計）

出所：競争評価2014利用者アンケート

連携サービス利用の満足度

- 連携サービス利用者の**半数以上**は、**「満足している」「非常に満足している」**と回答。
- 「不満である」「非常に不満である」との回答は1割に満たない。

連携サービス利用の満足度



※設問対象者のうち有効な回答のみ集計

（n=107）

回答者ベース：固定及び移動体通信の連携サービス利用者（設問対象者のうち有効な回答のみ集計）

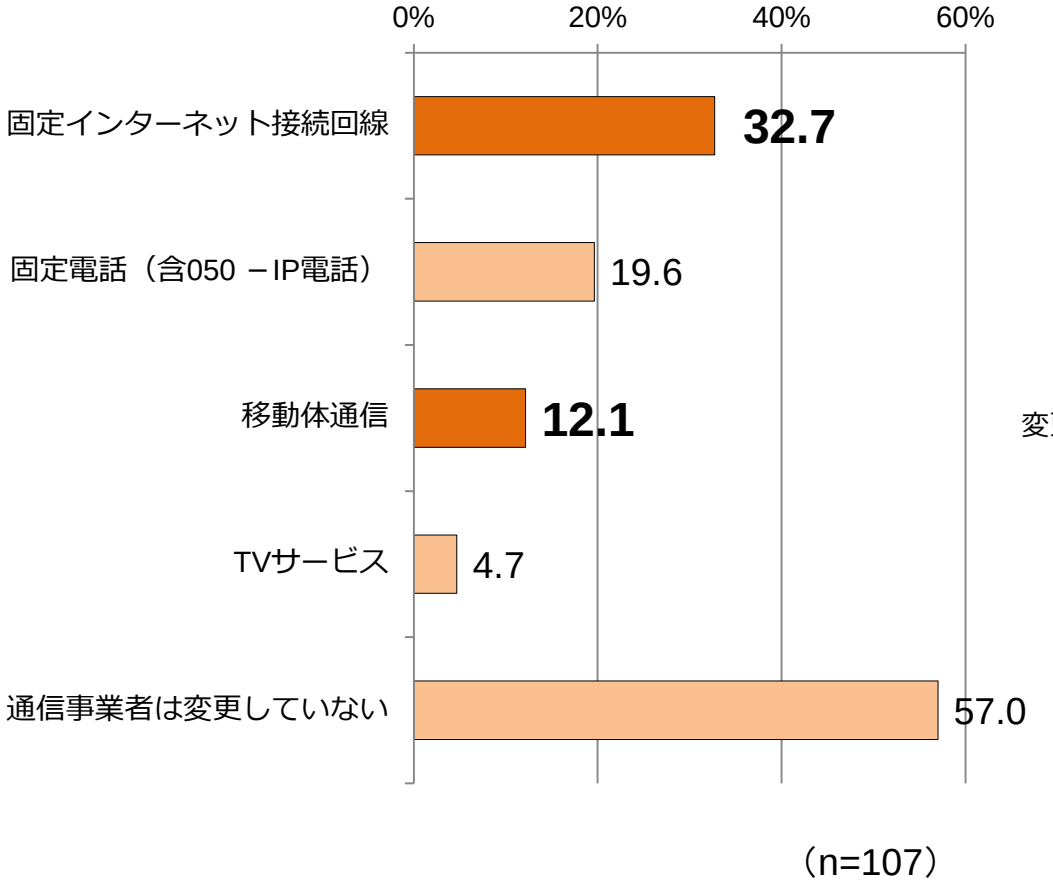
出所：競争評価2014利用者アンケート

連携サービス利用における事業者変更

- 連携サービスの利用に当たって**事業者変更を行ったサービス**としては、**固定インターネットが32.7%と最も多く、移動体通信**は**12.1%**にとどまる。
- 連携サービスの利用者全体のうち、**「変更後の条件次第で変更を検討する」**と回答した者は**47.7%**。

連携サービス利用において事業者変更経験があるサービス

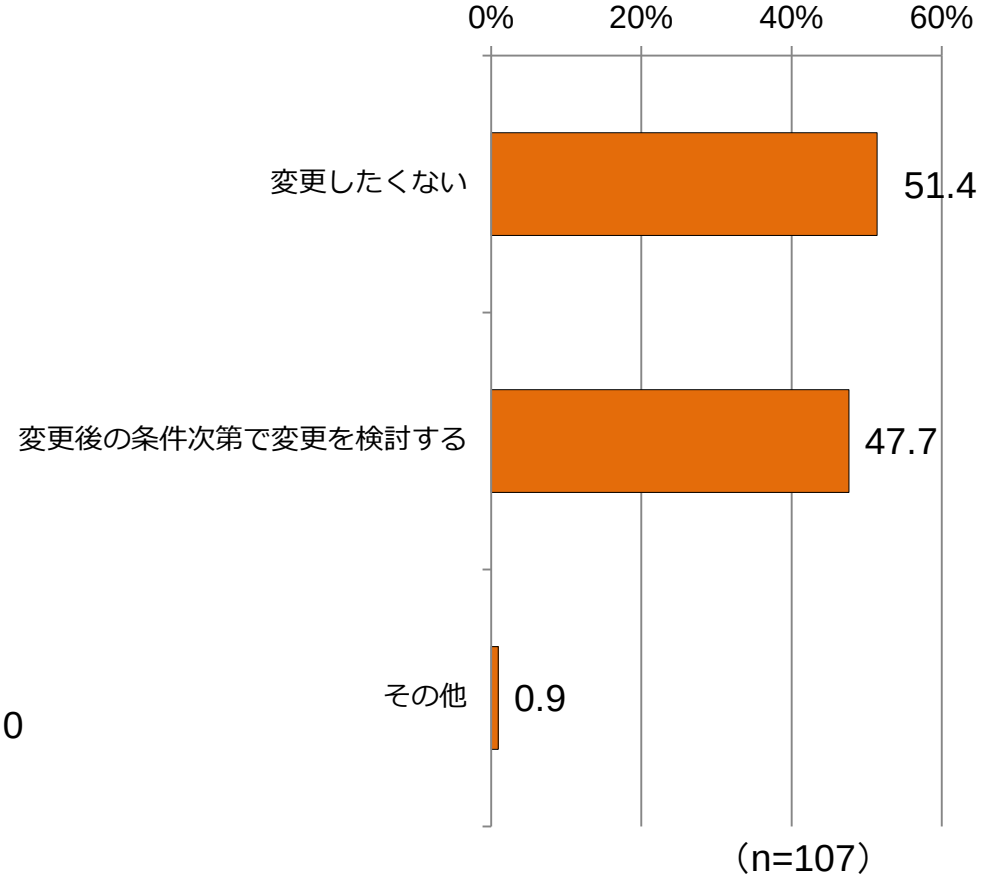
※複数回答可



（n=107）

連携サービスの変更意向

※複数回答可



（n=107）

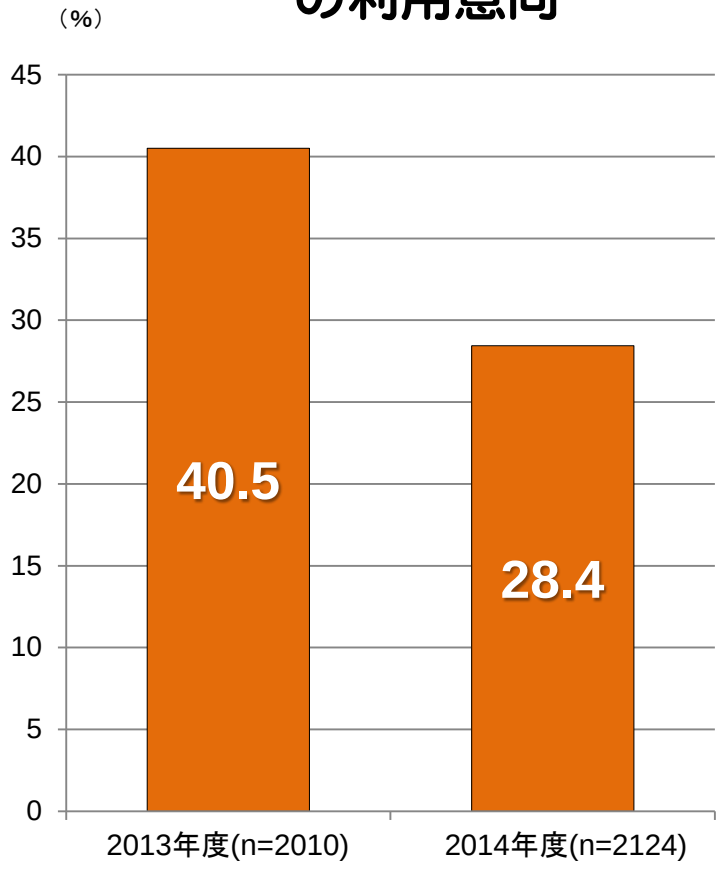
回答者ベース：固定及び移動体通信の連携サービス利用者（設問対象者のうち有効な回答のみ集計）

出所：競争評価2014利用者アンケート

固定・移動組合せ型サービスの利用意向

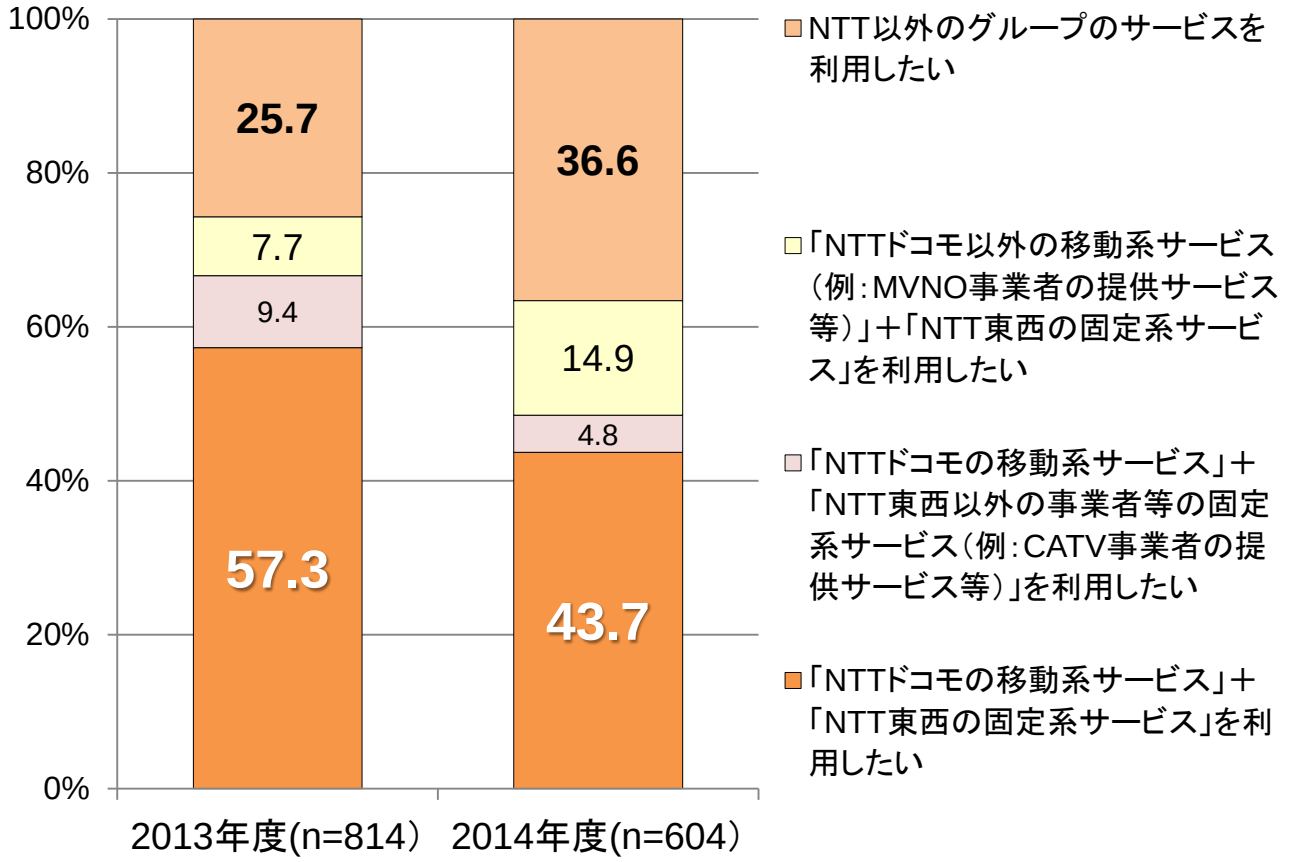
- 固定・移動組合せ型サービスの利用意向は、**前年度の約4割から減少**し、**約3割**となった。
- 利用意向がある者の中でも、**NTT以外のグループのサービスを利用したいという者**の割合が**増加**。

固定・移動組合せ型サービスの利用意向



回答者ベース：固定及び移動通信利用者

事業者の組合せ意向



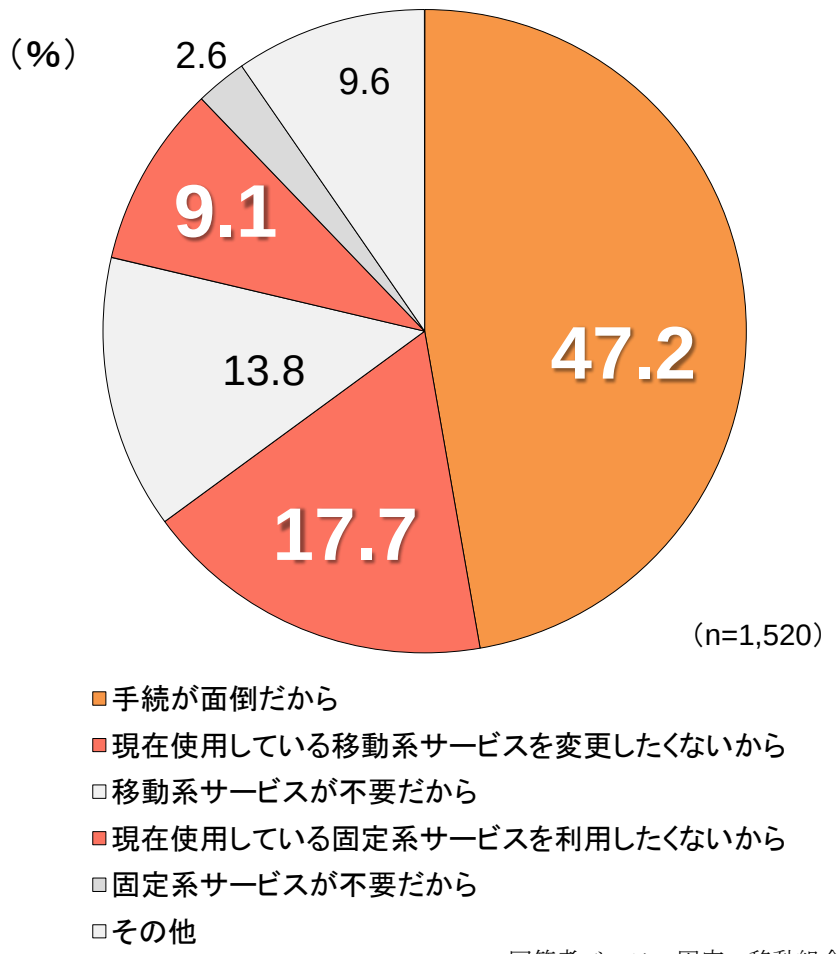
回答者ベース：固定・移動組合せ型サービス利用意向者

出所：競争評価2013・2014利用者アンケート

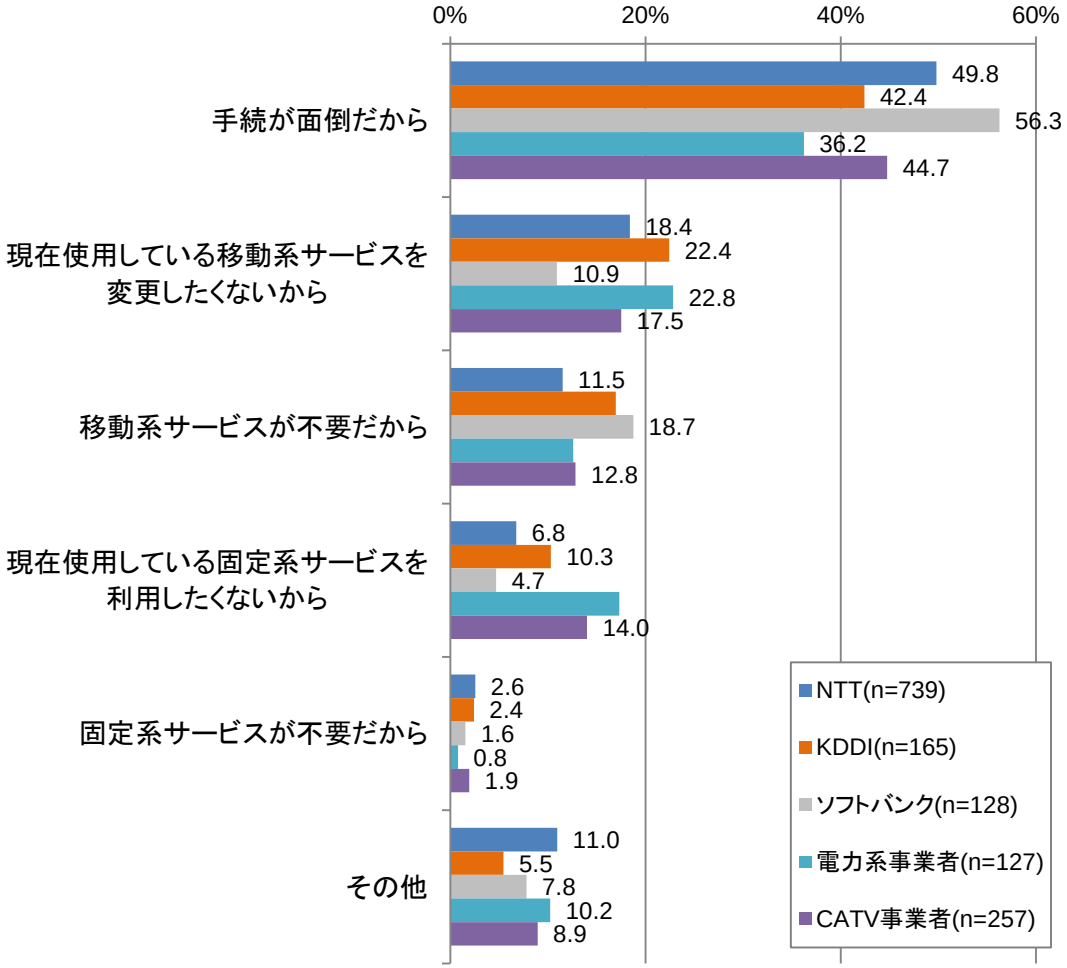
固定・移動組合せ型サービスを利用しない理由

- 固定・移動組合せ型サービスを利用しない理由では、**「手続が面倒」が最多**で約半数を占める。
- **「移動系サービスを変更したくない」**を理由に挙げた者は**約18%**、**「固定系サービスを変更したくない」**を理由に挙げた者は**約9%**。

固定・移動組合せ型サービスを利用しない理由（全体）



固定・移動組合せ型サービスを利用しない理由（事業者別）



回答者ベース：固定・移動組合せ型サービスの非利用意向者

出所：競争評価2014利用者アンケート

３　NTT東西による光回線の卸売サービスについて

NTT東西による光回線の卸売サービス(「サービス卸」)について(イメージ図)

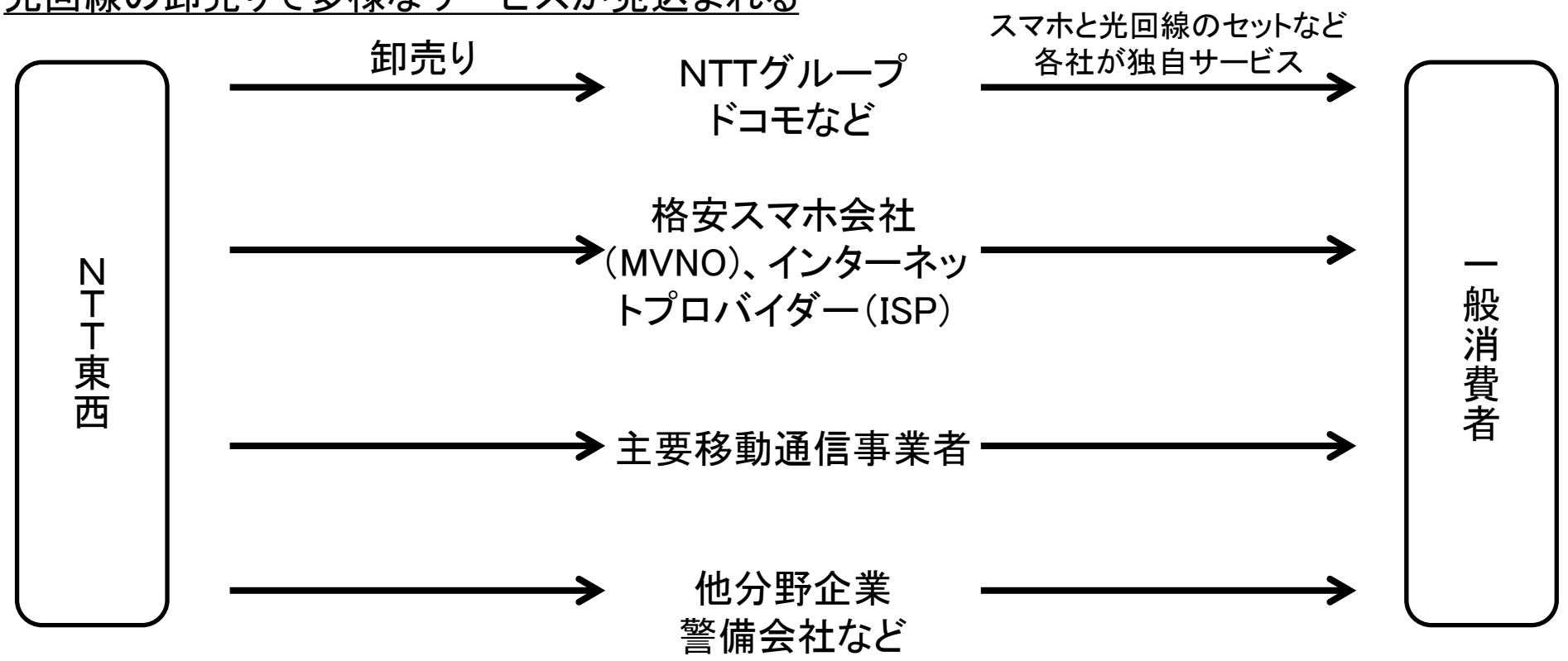
現在(NTT東西による直接販売)

NTT東西 → フレッツ光などを提供 → 一般消費者

【参考】1,861万契約(シェア:70.6%)
※2014年12月末時点

卸売り形態になると

→光回線の卸売りで多様なサービスが見込まれる



光回線の卸売サービス(「サービス卸」)に関する総務省の基本的な考え方

昨年5月に日本電信電話株式会社(NTT)から公表された**光回線の卸売サービス(「サービス卸」)について、**情報通信審議会「2020年代に向けた情報通信政策の在り方」答申、自由民主党・情報通信戦略調査会からの「申入れ」等を踏まえ、**総務省としては、**

- これまで通信分野に参入していなかった異業種が新たなプレーヤーとなり多様なサービスを展開するなど、**我が国が世界に誇る光回線の利用の向上につながる**と考える一方、
- (「サービス卸」を提供する)**NTT東西は固定通信市場で**依然としてシェア70%超を占めるなど**市場支配力を有していることや、**
- **主要移動通信事業者三社がその資金力等を用いて、**「サービス卸」を活用して固定通信とモバイルのセット提供で、セット割引・キャッシュバック等を行うことは、CATV等の**固定通信事業者に対する影響が多大である**こと、

などを踏まえ、「サービス卸」が**固定通信市場の競争に及ぼす影響**に対し、**公正競争確保のための新たな制度的な仕組みを講ずる**とともに、主要移動通信事業者三社等に対する現行法の**業務改善命令等の対象となり得る行為を整理・類型化するガイドラインを創設**することとする。

光回線の卸売サービス(「サービス卸」)に関する新しい制度的な仕組みについて

● 「サービス卸」の料金その他の提供条件について、**公平性、適正性及び透明性の確保の観点等から、現行法での規律に加え、新しい制度的な仕組みを講ずる**こととする。

1　公平性、適正性及び透明性を確保するための措置

（1） **NTT東西が、**公正競争への影響が大きい**卸役務を行う際、主要事業者**との**個別契約について事後に届け出**る仕組み

（2） （1）による**届出を受けた後、総務省においてその内容を整理し、**必要に応じ、NTT東西とNDA（秘密保持契約）を締結した**競争事業者から意見聴取**を行うとともに、届出を受けた内容について、**審議会に報告を行いその結果を公表**する仕組み

2　市場の動向等を把握・検証するための措置

（1） **NTT東西は、**都道府県別の「サービス卸」の**利用実態について総務省に報告**を行い、**総務省は、**これに基づき、「サービス卸」に係る**市場動向を分析し、定期的に公表。**

（2） **総務省は、**このたび行う制度的な措置について、必要に応じ、**3年後を目途に検証**することとする。

光回線の卸売サービス(「サービス卸」)に関するガイドラインについて （平成27年2月27日策定）

● 「サービス卸」の提供は現行法上可能であるが、「サービス卸」に関する電気通信事業法の適用関係を明確化する(現行法上、問題となり得る行為を例示する)ことにより、**公正な競争環境を整備するとともに、行政運営に関する予見可能性を高めることを目的として、「サービス卸」に関するガイドラインを策定。**

電気通信事業法上問題となり得る行為に関するガイドラインの主な記載

卸提供事業者(NTT東西)が行う行為

- 「サービス卸」の料金等(工事費、手続費等を含む。)について、自己の関係事業者※のみを対象とした割引料金を設定することや、問合せ等に対して自己の関係事業者のサービスのみを紹介することなど、**特定の卸先事業者のみを合理的な理由なく有利に取り扱う**こと

  ※ 自己の関係事業者とは、自己との資本関係等を通じて一方が他方の経営方針等の決定を支配しているか又はそれに対して重要な影響を与えている事業者をいい、例えば、自己の子会社、自己を子会社とする親会社、当該親会社の子会社などをいう。

- 「サービス卸」の料金等(工事費、手続費等を含む。)について、実質的に**特定の卸先事業者に適用が限定されることが明らかなような大口割引※を行う**こと

  ※ 卸提供事業者が卸先事業者に支払う販売促進費等は、名称によらず大口割引に該当する場合があることに留意が必要である(「インセンティブ」「コミッション」等)。

卸先事業者(主要移動通信事業者三社)が行う行為

- **主要移動通信事業者三社が、**「サービス卸」を活用し固定通信とモバイルサービスをセット提供・セット割引をする場合において、**競争阻害的な料金設定や過度のキャッシュバックなどの行為により**、卸役務に係る需要を共通とする電気通信回線設備を設置する**競争事業者(CATV等)の設備の保持が経営上困難となるおそれを生じさせる**こと

- (市場支配的事業者である)**NTTドコモが、**「サービス卸」を活用する際、**合理的な理由なく、**(NTT東西の提供するサービス卸のみとの)**排他的な組み合わせで、自己が提供する他のサービス(モバイルサービスなど)との割引サービスを提供**すること

サービス卸を利用した提供事業者の概要

サービス卸を活用している事業者数

※2015年4月1日現在

全82者　（NTT東西公式HP上の情報に基づく）

卸先事業者の分類（主な業種による分類）

●MNO	:	２者
●ISP・MVNO等の通信事業者（法人向け含む）	:	３７者
●CATV事業者	:	１６者
●SI・ベンダー・機器販売等の関連事業者	:	２４者
●異業種（通信事業以外を主とする者）	:	３者

卸先事業者にて提供するサービスの分類（重複あり）

●個人向けFTTHアクセスサービス	:	４５者
・うち、モバイルサービスとのセット割提供	:	１１者
●法人向け（IP-VPNサービスの提供等）	:	８者
●サービス未提供・内容不明等	:	２９者

※総務省調べ

サービス卸を利用した主な提供事業者・サービス内容一覧

※ 2015年4月1日現在

	事業者名	サービス名	サービス開始時期	FTTH料金※	セット対象	概　要
ISP/MVNO	NTTコミュニケーションズ	OCN　光	2月5日	5,100円	・ISP ・MVNO	・MVNOとのセットでMVNO料金200円引き
	NTTぷらら	ぷらら光	2月23日	4,800円	・ISP ・MVNO	・MVNOとのセットでMVNO料金200円引き
	ビッグローブ	ビッグローブ光	2月1日	5,180円	・ISP ・MVNO	・MVNOとのセットでMVNO料金200円引き
	ニフティ	@nifty光	3月1日	5,200円	・ISP ・MVNO	・MVNOとのセットでMVNO料金200円引き ・auスマホ等とのセットでFTTH料金から最大1,200円引き
	So-net	So-net光 コラボレーション	2月9日	5,200円	・ISP ・MVNO	・MVNOとのセットでMVNO料金200円引き ・auスマホ等とのセットでFTTH料金から最大1,200円引き
	インターネット イニシアティブ（IIJ）	IIJmioひかり	3月2日	4,960円	・ISP ・MVNO	・MVNOとのセットでFTTH料金から600円引き
MNO	NTTドコモ	ドコモ光	3月1日	5,200円※	・モバイル	※ISP料金一体型（タイプA）の場合 ・モバイルとのセットで合計料金から最大3,200円引き
	ソフトバンクモバイル	Softbank光	3月1日	5,200円	・モバイル	・モバイルとのセットでモバイル料金から最大2,000円（税込）引き
CATV	TOKAI ケーブルネットワーク	ひかりdeネット N	3月1日	5,100円※	・ISP	※同グループのISP「TNC」を選択した場合
（参考）	NTT東日本	フレッツ 光ネクスト ギガファミリー・スマートタイプ	ー	5,200円※	ー	※プロバイダ料金最安（500円）の場合
異業種	T-MEDIAホールディングス	TSUTAYA光	3月12日	4,500円※	・動画配信サービス	※ISP料金は別途 ・映画が月20本まで無料で視聴可能
	綜合警備保障（ALSOK）	未定	2015年中	未定	・警備サービス	

注：特に記載が無い限り、戸建て向け・ISP一体・長期契約割引適用後の金額（税抜）。
モバイルとのセット販売時の割引額、各種キャンペーン割引等は含まない。

「ドコモ光」の概要

サービス開始日　2015年3月1日

月額料金

（税抜・2年定期契約有）

	単独型 (ISPは別料金)	ISP料金一体型	
		タイプA	タイプB
戸建て	5,000円	5,200円	5,400円
集合住宅	3,800円	4,000円	4,200円

対応ＩＳＰ

※2015年4月1日現在
※提携ISPにより提供開始時期が異なる

【単独型】 全ての「フレッツ光」対応ISPが選択可能

【ISP料金一体型】 以下の提携ISPから選択可能

タイプA

タイプB

モバイルとのセット割引（ドコモ光パック）

契約するドコモ携帯電話のデータ定額プランにより、ドコモ光の料金との合計から、最大3,200円の割引。

その他割引施策

【光スマホ割】（対象：新規契約・MNP契約者）
→ カケホーダイプラン半額（1,350円割引） 等

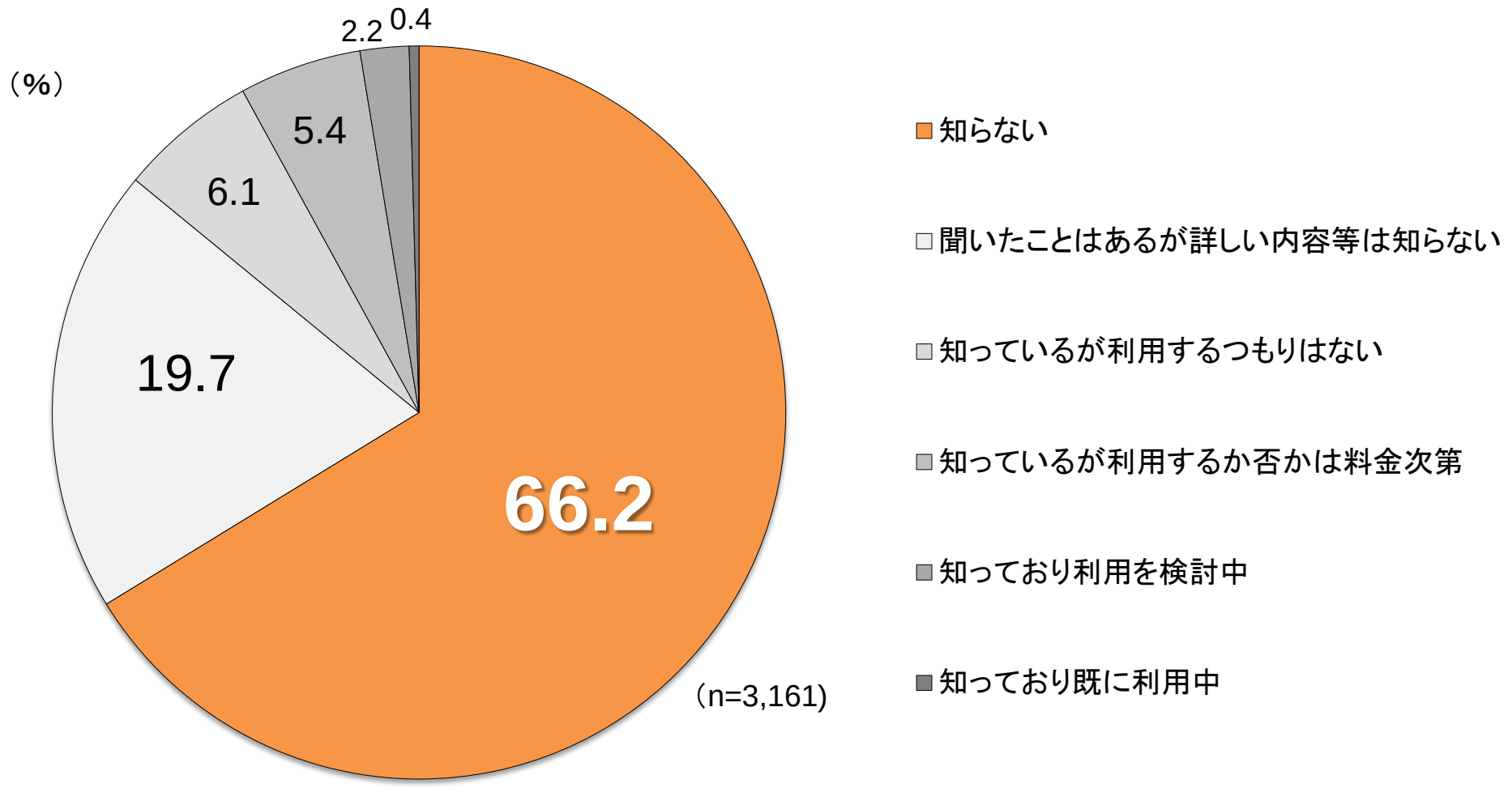
【期間限定割引】（対象：旧ﾌﾟﾗﾝ、光ﾃﾞｰﾀSﾊﾟｯｸ等、特定ﾌﾟﾗﾝの契約者）
→ ドコモ光料金を500円割引

４　サービス卸に関する利用者アンケートの結果

サービス卸の認知度（全体）

- 「ドコモ光」等の「サービス卸」を利用したサービスについては、**約66％が「知らない」と回答。**

「サービス卸」を利用したサービスの認知度（全体）



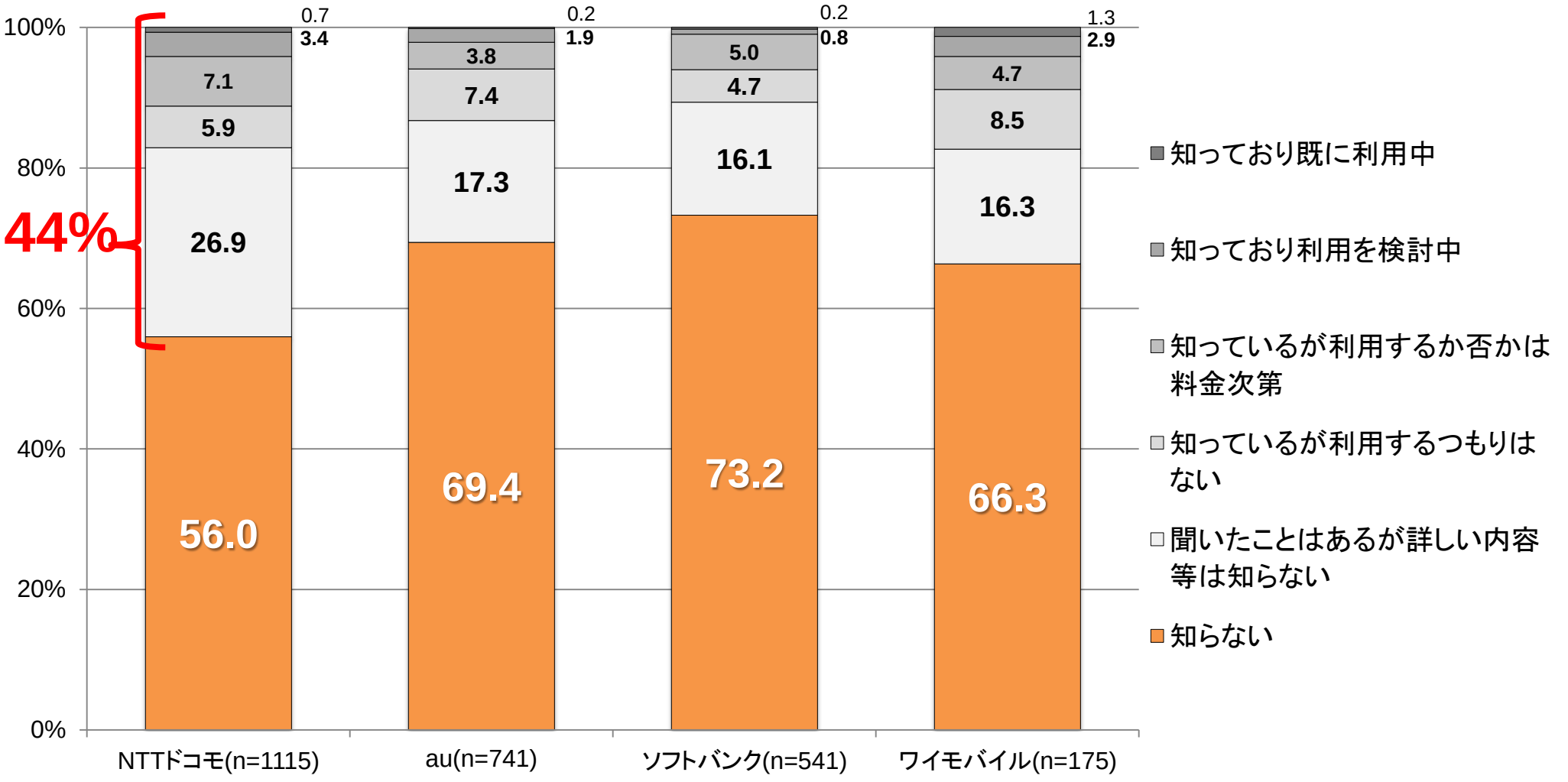
回答者ベース：固定及び移動体通信利用者＋移動体通信のみの利用者

出所：競争評価2014利用者アンケート

サービス卸の認知度（移動体通信事業者別）

● 移動体通信事業者別の「サービス卸」の認知度では、**NTTドコモユーザが約44％と最も高い。**

「サービス卸」を利用したサービスの認知度（移動体通信事業者別）



回答者ベース：固定及び移動体通信利用者＋移動体通信のみの利用者

出所：競争評価2014利用者アンケート